

高師台中学校の ESD 活動

<活動の概要>

・当校は、「地域とともに共生」を ESD の学校理念として、ESD の実践を通して地域社会に育む他者理解の力の育成を目標とした。具体的には、防災・福祉・環境を柱に、①防災に係わる活動、②福祉に係わる活動、③環境に係わる活動を行った。

・活動の実際

① 防災にかかわる活動（全校生徒）

講演

「<あの日>以降をいきる ～東日本大震災における被災地（岩手県沿岸部）の現状等から学ぶ～」(R6年度)

東日本大震災後の福島でボランティア活動を行った田中麻美氏を講師に迎え講演会を行った。震災直後の教室の写真や津波の高さを本校の校舎で例えるなど、わかりやすく被災地の様子が伝えられた。いつ来るかわからない災害に対して恐ろしさを知るとともに自分ごととしてとらえ、今できることをしっかり準備していきたいなど前向きな感想をもった。

② 福祉に係わる活動（1年生）

「誰もが安心して暮らせる共生社会をみざして」

1年生の総合的な学習において「自分にできる福祉とは」をテーマに福祉について学習している。調べ学習では、福祉についての知識を広めるために図書館やインターネットを利用したり、身近なものと感じられるように駅や公共施設でシンボルマークを探したりしている。体験学習では、アイマスクをつけて盲目・ガイド体験や重りを装着して歩行する高齢者体験、車椅子体験、点字体験などを行っている。障害についての理解を深めるとともに、固定概念にとらわれず相手に合わせたコミュニケーションのできる生徒を育てている。



③ 環境に係わる活動（3年生・校区）

「地域貢献活動（地域清掃活動）」

3年生の素敵な思いから始まった『地域に貢献し隊』のひとつとして「地域を自分たちの手できれいにしよう」と『地域清掃活動』を実施しました。「お世話になっている地域の役に立ちたい」と公園や市民館を更にきれいにしようとして汗水を流しながら草取りや落ち葉拾いをする姿、トイレをすみずみまで徹底的に磨いて掃除する姿など、3年生の思いが発信できた活動となりました。

